

第10款 教 育 費

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等						
1 教育総務費	円	円								
4 教育連絡調整費 (P198)	945,948,000 (1,460,638,000)	916,636,307 (1,417,962,226)	いじめ防止・不登校支援等総合推進事業 (学校教育課 高校教育課 社会教育課)	<p>1 施策の趣旨等 いじめや不登校が大きな問題となる中で、学校等における児童生徒や保護者の相談に対応する総合的なサポート体制を充実するとともに、いじめ、不登校対策や生徒指導の充実を図る。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>スクールカウンセラーの配置校数</td> <td>小27校、中高全校配置</td> <td>小27校、中高全校配置</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) いじめ未然防止・早期解消支援チーム派遣 学校におけるいじめ事象の未然防止・早期解消に向けて、生徒指導経験のある退職教員などで構成するチームを派遣し、専門的視点から指導助言等を行った。</p> <p>(2) スクールカウンセラー配置 学校における教育相談機能の充実を図るため、専門的な知識を有する臨床心理士をスクールカウンセラーとして小・中・府立高等学校に配置した。 配 置 校 (小 学 校) 向日市立向陽小学校ほか26校 (中 学 校) 全中学校 (高等学校) 全府立高等学校</p> <p>(3) 心の居場所サポーター配置 学校に登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うための「心の居場所サポーター」を小・中学校に配置し、不登校の未然防止と早期解決を図った。 配 置 校 (小 学 校) 宇治市立榎島小学校ほか15校 (中 学 校) 向日市立西ノ岡中学校ほか21校</p> <p>(4) いじめ対策24時間電話相談 いじめ問題等に関し、24時間体制での電話相談を実施した。 相談件数 3,312件</p> <p>(5) トータルアドバイスセンター 学校教育及び家庭教育に関する相談体制の充実を図るため、精神科医、臨床心理士等の適応指導相談員や臨床・発達心理学等専門的な知識や技能を有するカウンセラーを配置し、来所及び巡回教育相談を実施した。 来所教育相談場所 府総合教育センター及び同北部研修所 巡回教育相談場所 教育局及びアグリセンター大宮</p>	指 標	目 標	実 績	スクールカウンセラーの配置校数	小27校、中高全校配置	小27校、中高全校配置
指 標	目 標	実 績								
スクールカウンセラーの配置校数	小27校、中高全校配置	小27校、中高全校配置								
		決算額の財源 内訳 国庫支出金 176,380,588 諸 収 入 310,156 一 般 財 源 739,945,563								

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>(6) ネットいじめ対策 学校非公式サイト等への誹謗中傷の書き込みなどネットをめぐるいじめなどから児童生徒を守るため、民間業者によるネット監視業務を実施するとともに、府民からネットいじめに関する情報を受け付けるための専用通報窓口を開設した。 監視件数 3,588件 通報件数 0</p> <p>(7) いじめ対策・不登校支援等推進事業 適応指導教室の設置・機能拡充や教育委員会と民間団体との連携促進に向けた取組について、市町（組合）に委託した。 実施市町村数 9市町（組合）</p> <p>(8) フリースクール連携推進事業 不登校児童生徒の学校復帰や希望進路の実現に向けて取り組んでいるフリースクールとの連携を推進し、児童生徒の社会的自立を支援した。 連携施設 6施設</p> <p>(9) ふれあい宿泊学習 不登校傾向にある児童生徒がキャンプ等野外活動体験を重ねることにより、自立への力、登校する力をつける宿泊学習を実施した。 実施場所 期間及び開催回数 参加延べ人数 府立るり溪少年自然の家 1泊2日を3回、6泊7日を1回 101人</p> <p>(10) SNSを活用した相談体制構築のための調査研究 通信手段が電話からSNS等に移行していることを踏まえ、多様な相談体制の構築を目的として「LINE」による相談窓口「子どもLINE相談@京都」を開設した。 設置期間 令和元年8月27日から9月9日まで、 令和元年10月1日から10月14日まで及び 令和2年1月7日から1月20日まで 受付件数 555件</p> <p>(11) 不登校支援ハンドブックの作成 不登校児童生徒への効果的・計画的な支援を行うため、不登校の未然防止から支援の在り方までをまとめたハンドブックを作成し、教員へ配布した。</p> <p>(12) 不登校児童生徒支援拠点整備事業 市町村が設置する教育支援センターにスクールカウンセラー等の専門家を配置し、相談業務や個別学習の支援を行うなど、同センターを不登校児童生徒支援の拠点として機能拡充を図った。 実施市町村数 8市町</p> <p style="text-align: right;">3 執 行 額 336,651,111円 (うち委託料 41,376,891円)</p>

		京都グローバル人づくり事業 (学校教育課) (高校教育課)	<p>1 施策の趣旨等 小・中・高校生の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、高校生の海外語学研修や留学への支援・英語指導助手の配置などにより、国際感覚を身に付けた国際社会で活躍できるグローバル人材を育成する。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">指 標</td> <td style="width: 33%;">目 標</td> <td style="width: 33%;">実 績</td> </tr> <tr> <td>英検準2級相当を取得している府立高校生の割合</td> <td>37.5%</td> <td>42.4%</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 外部専門機関と連携し、小学校教員及び中学校、高等学校英語科教員を対象に、英語指導力の向上に効果的な研修を実施した。</p> <p>(2) 府内の英語教育強化地域拠点において、公立学校の実態に即したカリキュラムの開発や一貫性のある指導評価についての研究開発を実施した。</p> <p>(3) 英語指導助手の配置 英語による実践的なコミュニケーション能力の充実や国際理解教育の推進を図るため府立高等学校等にJETプログラムによる英語指導助手を配置した。</p> <p>(4) 府立高校生グローバルチャレンジ事業 英国エディンバラ及びオーストラリアでの語学研修参加者並びに短期留学(1箇月程度)をする者に留学経費を支援した。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: right;"> <tr> <td>対象者数 エディンバラ語学研修補助事業</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>海外短期留学チャレンジ補助事業</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>オーストラリア語学研修補助事業</td> <td>60</td> </tr> </table> <p>(5) 府立高校「海外サテライト校」事業 オーストラリア等2箇国の高等学校へ中期留学(2～4箇月)する11人に留学経費を支援した。</p> <p>(6) 府立高校生グローバル文化カフェ事業 教育旅行・観光訪日外国人とのおもてなし交流を実施した。 実施学校数 17校</p> <p>(7) 英語4技能向上事業 中学校2年生を対象に英語4技能テストを実施するとともに、民間の英語4技能テストを受験する府立高等学校1・2年生に対して受験料の一部を支援した。 中学校 実施校 長岡京市立長岡第四中学校ほか12校 高等学校 対象者数 14,977人</p> <p>(8) 小学校教員及び中学校教員を対象に、新教材を活用した指導方法の研修会を実施するとともに、「聞く・話す」を中心とした集中セミナーを実施した。</p> <p>3 執 行 額 283,375,858円</p>	指 標	目 標	実 績	英検準2級相当を取得している府立高校生の割合	37.5%	42.4%	対象者数 エディンバラ語学研修補助事業	30人	海外短期留学チャレンジ補助事業	12	オーストラリア語学研修補助事業	60
指 標	目 標	実 績													
英検準2級相当を取得している府立高校生の割合	37.5%	42.4%													
対象者数 エディンバラ語学研修補助事業	30人														
海外短期留学チャレンジ補助事業	12														
オーストラリア語学研修補助事業	60														

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等												
	円	円	<p>京都式「学力向上教育サポーター」事業 (学校教育課)</p> <p>効果の上がる学力対策事業 (学校教育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 「まなび・生活アドバイザー」を配置・派遣し、児童生徒への支援とネットワークづくりにより、学校をプラットフォームとした福祉関係機関等との連携支援体制を構築する。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">指 標</td> <td style="width: 33%;">目 標</td> <td style="width: 33%;">実 績</td> </tr> <tr> <td>「まなび・生活アドバイザー」の配置校数</td> <td>小学校29校 中学校40</td> <td>小学校29校 中学校40</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) すべての児童生徒の基礎学力の充実と希望進路の実現を図るため、小中学校に専門家チームを派遣するとともに、学区の地域をつなぐ地域ネットワーク型サポーターを配置し、学力課題の調査・分析や指導・地域ネットワークづくりを実施した。 実施学区数 4 中学校区</p> <p>(2) 地域の状況に詳しい退職教員等を小・中学校に「まなび・生活アドバイザー」として配置し、担任と連携した支援や福祉関係機関等と連携した家庭環境の改善を行い、生活習慣の確立と学習習慣の定着を図った。</p> <p>(3) 学校に社会福祉士、臨床心理士等を派遣し、困難な家庭環境にある子どもの状況を学校で把握し、教育的、福祉的観点から学習・生活支援策を検討・実施できるようケース会議を開催した。</p> <p>3 執 行 額 140,581,099円</p> <p>1 施策の趣旨等 基礎基本の徹底や個別課題に対応するための取組を充実し、児童生徒に確かな学力が身につくよう、学力向上に向けた実践的・効果的な支援を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">指 標</td> <td style="width: 33%;">目 標</td> <td style="width: 33%;">実 績</td> </tr> <tr> <td>全国学力・学習状況調査の平均 正答率が全国平均正答率の1/2 以下の子どもの割合</td> <td>減少させる</td> <td>小6： 4%減 中3： 1.3%増</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 学びと育ちを支える保幼小等連携推進事業 保幼小等の円滑な接続を図るため、小学校での体験入学事業を実施するとともに、幼児教育の充実に向けた理論や実践を学ぶ連携推進協議会を開催した。</p>	指 標	目 標	実 績	「まなび・生活アドバイザー」の配置校数	小学校29校 中学校40	小学校29校 中学校40	指 標	目 標	実 績	全国学力・学習状況調査の平均 正答率が全国平均正答率の1/2 以下の子どもの割合	減少させる	小6： 4%減 中3： 1.3%増
指 標	目 標	実 績														
「まなび・生活アドバイザー」の配置校数	小学校29校 中学校40	小学校29校 中学校40														
指 標	目 標	実 績														
全国学力・学習状況調査の平均 正答率が全国平均正答率の1/2 以下の子どもの割合	減少させる	小6： 4%減 中3： 1.3%増														

				<p>体験入学事業実施校 114校</p> <p>(2) 京都式「学力向上学習システム」の構築 児童生徒の学力課題を明確にし、効果的な指導につなげられるよう、小学校向けの学力向上学習システムを開発した。</p> <p>(3) 小学校・中学校学力診断テスト 小・中学校児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握し、一人ひとりに対応した指導及び授業改善に役立てるため、学力診断テストを実施した。</p> <p>(4) 小学生個別補充学習～ジュニア・わくわくスタ～ 学習内容が高度化する小学4・5年生段階のつまずきを解消するとともに、主体的に学習に取り組む意欲・態度を身に付けさせるため、基礎基本を徹底する補充学習を実施した。</p> <p>実 施 校 141校</p> <p>(5) 中1振り返り集中学習～ふりスタ～ 中学1年生の早期に学習のつまずきの解消を図るとともに、主体的に学習に取り組む意欲・態度を身に付けさせるため、基礎的・基本的な内容を振り返る集中学習を実施した。</p> <p>実 施 校 92校</p> <p>(6) 中2学力アップ集中講座 中学2年生段階における基礎学力の定着を図り、さらに発展した学習ができるよう集中学習を実施した。</p> <p>実 施 校 92校</p> <p>(7) 中学生読解力向上対策 「読む力」と「書く力」を総合的に高めていき、実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成するため、小論文グランプリ等を実施した。</p> <p>(8) 大学の先生に学ぼう体験事業 京都大学と連携して、研究者が学校へ出向いて授業を行う出前授業や、魅力ある授業づくりのための教員研修を実施した。</p> <p>出 前 授 業 実施校 99校 教 員 研 修 受 研 者 16人</p> <p>(9) 理科教育推進事業 理科の観察実験の機会確保と質の向上のため、理科支援員を配置するとともに、大学教授による指導助言を実施した。</p> <p>配 置 校 長岡京市立長岡第二中学校ほか5校</p> <p>(10) 学力向上システム開発校 小・中学校の中から、自校の学力向上に係る課題に基づく実践上の取組を設定し、課題を克服するための新たな方策の開発に主体的に取り組み、教育活動を改革する学校を「学力向上システム開発校」として指定し、支援するとともにその成果の波及を図った。</p> <p>実 施 校 向日市立第6向陽小学校ほか19校</p>
--	--	--	--	---

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等									
	円	円	豊かな心を育てる教育 推進事業 (学校教育課) (社会教育課)	<p>3 執 行 額 87,329,287円 (うち委託料 19,343,412円)</p> <p>1 施策の趣旨等 生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、美しいものや自然に感動する心等の豊かな人間性の育成を目指し、心の教育の充実を図るため、家庭・地域社会・学校・関係機関が連携しながら総合的な施策を推進する。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>小・中学校における伝統文化や仕事 体験活動の実施率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>心の教育学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」等を活用した豊か な心を育む取組の実施校数</td> <td>全小中学校</td> <td>全小中学校</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) KYO発見 仕事・文化体験活動 京都の伝統や文化を大切にする心や、望ましい職業観・勤労観及び様々な知識・技能、社会の一員としての規範意識やコミュニケーション能力などを身につけさせるため、地域における仕事や文化、古典等の体験活動を小・中学校において実施した。</p> <p>(2) 子どもの読書活動の推進 子どもが積極的に読書活動を行おうとする意欲を高めるため、「子ども読書本のしおりコンテスト」を実施した。 応募者数 7,436人</p> <p>(3) 「京の子ども 明日へのとびら」作成 心の教育学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」を、小・中学校の全児童生徒に配付し、道徳の時間をはじめとするあらゆる教育活動の中で活用することにより、道徳教育の充実を図った。</p> <p>3 執 行 額 17,442,072円 (うち補助金 14,593,292円)</p>	指 標	目 標	実 績	小・中学校における伝統文化や仕事 体験活動の実施率	100%	100%	心の教育学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」等を活用した豊か な心を育む取組の実施校数	全小中学校	全小中学校
指 標	目 標	実 績											
小・中学校における伝統文化や仕事 体験活動の実施率	100%	100%											
心の教育学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」等を活用した豊か な心を育む取組の実施校数	全小中学校	全小中学校											
			新しい学び総合推進事 業 (学校教育課)	<p>1 施策の趣旨等 社会の急激な変化や新学習指導要領の全面実施を見据え、子どもたちが未来の創り手になるために必要な資質・能力を着実に身につけることができるよう、総合的な施策を推進する。</p>									

				指 標 事業指定校数	目 標 7校5中学校区	実 績 7校5中学校区
				2 施策の実施状況		
				(1) 幼児教育アドバイザーの配置		幼児教育を担う各施設への巡回・指導助言や研修等を実施するとともに、各施設との協働ネットワークを構築するため、元幼稚園長等の経歴を持つ幼児教育アドバイザーを配置した。 配置人数 3名
				(2) 未来を拓く学校づくり推進事業		幼児期から中学校教育までの学びの連続性・一貫性を通して「認知能力」と「非認知能力」をともに育むため、年間プログラム作成等の実践研究を府内中学校区で実施した。
				(3) 論理的思考力育成事業		子どもたちの学びをさらに深めるため、リーディングスキルテストを活用し、その結果分析をもとに授業改善を行い、論理的思考力や情報活用能力などの育成に向けた実践研究を実施した。 実 施 校 向日市立西ノ岡中学校 福知山市立三和中学校
				(4) 課題解決型学習推進事業		府内企業等とタイアップし、「正解のない問い」に対して子どもたちが知識だけでなく思考力や社会的スキルを身につけるため、課題解決型学習を実施した。 実 施 校 向日市立寺戸中学校ほか4校
				3 執 行 額		6,453,793円
			近畿高等学校総合文化祭開催事業 (高校教育課)	1 施策の趣旨等		各地域の伝統文化の継承や新しい芸術文化の創造を通して、高等学校における芸術文化の振興を図る。
				2 施策の実施状況		近畿各府県の高校生による芸術文化活動の総合的な発表会を開催した。 参加人数 4,530人
				3 執 行 額		36,866,188円

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等						
	円	円	高校生「京の文化力」推進事業 (高校教育課)	<p>1 施策の趣旨等 府立高等学校における文化系部活動への支援を通じて、京都の伝統文化の次世代への継承を図るとともに、京都ならではの文化をはぐくむことを目指す。</p> <table border="0" data-bbox="1099 339 1877 435"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業指定校数</td> <td style="text-align: center;">外部指導者の技術指導による文化系部活動の充実</td> <td style="text-align: center;">22校29部</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 各種大会等で顕著な活動実績のある部や、特に育成に努めることが必要と認める部を対象として学校を指定し、活動を支援するとともに、その成果の発表に対する経費を助成した。</p> <p>3 執 行 額 7,936,899円 (うち補助金 4,750,000円)</p>	指 標	目 標	実 績	事業指定校数	外部指導者の技術指導による文化系部活動の充実	22校29部
指 標	目 標	実 績								
事業指定校数	外部指導者の技術指導による文化系部活動の充実	22校29部								
2 小学校費 1 教職員費 (P200)	2,721,381,600 (34,377,322,000)	2,713,181,634 (34,320,705,152) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 509,163,944 一般財源 2,204,017,690	子どものための京都式 少人数教育推進事業 (教職員企画課) (教職員人事課)	<p>1 施策の趣旨等 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人ひとりの児童生徒の確かな学力の定着を図る。</p> <table border="0" data-bbox="1099 930 1966 994"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">学校の実態等に即した教員配置数</td> <td style="text-align: center;">全小学校に配置</td> <td style="text-align: center;">全小学校に配置</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 (1) 小学校低学年指導充実事業 児童に学校での基本的な生活習慣及び学習習慣を身に付けさせ、保育園や幼稚園等から小学校への円滑な移行と定着を図るため、小学校第1及び第2学年の児童数30人を超える学級に非常勤講師を配置した。 配置状況 第1学年 108学級 第2学年 100</p> <p>(2) 京の子ども・少人数教育推進事業 小学校第3から第6学年で30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を充実するとともに、児童に応じた指導を行うため、少人数授業・チームティーチング・少人数学級を市町村教育委員会の選択により実施した。</p>	指 標	目 標	実 績	学校の実態等に即した教員配置数	全小学校に配置	全小学校に配置
指 標	目 標	実 績								
学校の実態等に即した教員配置数	全小学校に配置	全小学校に配置								

				<p>配置状況 少人数授業・チームティーチング 78校 98人 少人数学級 82 141</p> <p>3 執行額 2,434,440,241円</p> <p>1 施策の趣旨等 教育の質を高めるため、教職員の意識改革を行うとともに、外部人材の活用などにより、教員が授業や準備等に集中できる環境を構築する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校英語教育推進教員の配置</td> <td>47人</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>スクール・サポート・スタッフの配置</td> <td>24校</td> <td>24校</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 (1) 小学校英語教育推進教員の配置 配置校で英語授業を実施するとともに、公開授業や研修を通じて、小学校英語教育を先導する教員を配置した。 (2) スクール・サポート・スタッフの配置 教員を補助するスタッフを小学校に配置し、英語教育の推進や学級担任の事務作業等をサポートする体制を整備した。</p> <p>3 執行額 178,798,940円</p> <p>1 施策の趣旨等 小学校の通常学級に在籍する発達障害等の児童に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備等为先導的に行うため、非常勤講師を配置し、小学校における特別支援教育の充実を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援を要する小学校への非常勤講師配置数</td> <td>52校 53人</td> <td>52校 53人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 特に支援を必要とする児童が在籍する小学校において、校内委員会での検討等学校全体としての支援体制の充実を図るため、退職教員や特別支援教育専攻の大学院生等を非常勤講師として配置した。</p> <p>3 執行額 99,942,453円</p>	指 標	目 標	実 績	小学校英語教育推進教員の配置	47人	47人	スクール・サポート・スタッフの配置	24校	24校	指 標	目 標	実 績	支援を要する小学校への非常勤講師配置数	52校 53人	52校 53人
指 標	目 標	実 績																	
小学校英語教育推進教員の配置	47人	47人																	
スクール・サポート・スタッフの配置	24校	24校																	
指 標	目 標	実 績																	
支援を要する小学校への非常勤講師配置数	52校 53人	52校 53人																	
		教職員の働き方改革推進事業 (教職員企画課) (教職員人事課)																	
		特別支援教育充実事業 (教職員企画課) (教職員人事課)																	

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等														
3 中 学 校 費 1 教 職 員 費 (P200)	円 1,506,908,090 (21,346,137,000)	円 1,506,441,184 (21,287,035,746) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 339,351,348 一 般 財 源 1,167,089,836	子どものための京都式 少人数教育推進事業 (教職員企画課) (教職員人事課) 特別支援教育充実事業 (教職員企画課) (教職員人事課)	1 施策の趣旨等 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人ひとりの児童生徒の確かな学力の定着を図る。 <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>学校の実態等に即した教員配置数</td> <td>全中学校に配置</td> <td>全中学校に配置</td> </tr> </table> 2 施策の実施状況 全ての中学校で35人以下の学級編制が可能な教員配置を充実するとともに、生徒に応じた指導を行うため、少人数授業・チームティーチング・少人数学級の実施に必要な教員を市町村教育委員会の選択により配置した。 <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>配置状況</td> <td>少人数授業・チームティーチング</td> <td>82校</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>少人数学級</td> <td>25</td> <td>32</td> </tr> </table> 3 執 行 額 1,473,012,090円	指 標	目 標	実 績	学校の実態等に即した教員配置数	全中学校に配置	全中学校に配置	配置状況	少人数授業・チームティーチング	82校	155人		少人数学級	25	32
指 標	目 標	実 績																
学校の実態等に即した教員配置数	全中学校に配置	全中学校に配置																
配置状況	少人数授業・チームティーチング	82校	155人															
	少人数学級	25	32															
			特別支援教育充実事業 (教職員企画課) (教職員人事課)	1 施策の趣旨等 中学校の通常学級に在籍する発達障害等の生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備等を先導的に行うため、非常勤講師を配置し、中学校における特別支援教育の充実を図る。 <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>支援を要する中学校への非常勤講師配置数</td> <td>18校 18人</td> <td>18校 18人</td> </tr> </table> 2 施策の実施状況 特に支援を必要とする生徒が在籍する中学校において、校内委員会での検討等学校全体としての支援体制の充実を図るため、退職教員や特別支援教育専攻の大学院生等を非常勤講師として配置した。 3 執 行 額 33,429,094円	指 標	目 標	実 績	支援を要する中学校への非常勤講師配置数	18校 18人	18校 18人								
指 標	目 標	実 績																
支援を要する中学校への非常勤講師配置数	18校 18人	18校 18人																

<p>4 高等学校費</p> <p>1 高等学校総務費 (P202)</p>	<p>10,608,000 (29,216,554,000)</p>	<p>10,608,000 (29,062,514,366)</p> <p>決算額の財源 内訳 一般財源 10,608,000</p>	<p>府立高校特別支援教育 支援員配置事業 (教職員企画課) (教職員人事課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府立高等学校に在籍する発達障害がある生徒への支援体制を整備し、府立高等学校における特別支援教育の充実を図る。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>指 標</td> <td>目 標</td> <td>実 績</td> </tr> <tr> <td>支援を要する高等学校への非常勤講師配置数</td> <td>3校 4人</td> <td>3校 4人</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 発達障害等のある生徒への指導支援体制を整備するため、非常勤講師を配置した。</p> <p>3 執 行 額 10,608,000円</p>	指 標	目 標	実 績	支援を要する高等学校への非常勤講師配置数	3校 4人	3校 4人
指 標	目 標	実 績								
支援を要する高等学校への非常勤講師配置数	3校 4人	3校 4人								
<p>4 教育振興費 (P204)</p>	<p>5,609,213,000 (6,287,035,000)</p>	<p>5,371,189,956 (5,511,929,481)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 3,797,409,081 繰 入 金 3,776,000 諸 収 入 1,316,886,210 府 債 47,000,000 一般財源 206,118,665</p>	<p>高校生等修学支援事業 (高校教育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 経済的理由により修学が困難な高校生等に対し、修学資金の貸与や就学支援金の給付等を行うことにより、教育の機会均等を図り、社会の発展に貢献する人材の育成に資する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 修学資金等貸与 経済的理由により修学が困難な高校生等に対し、修学資金等を貸与するとともに、金融機関の特別制度融資を利用した者に対し、利子相当額を補助した。 貸与者数 修学金 3,185人 支度金 264人 利子補給 719</p> <p>(2) 通学費補助 高額の通学費を負担する家庭に対し、通学費の支援を実施した。 助成者数 114人</p> <p>(3) 定時制・通信制教育振興奨励 定時制・通信制課程に通う生徒の修学を促進するため、修学奨励費の貸与等を実施した。 貸与者数 46人</p> <p>(4) 奨学のための給付金 授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯の高校生等に対し、奨学のための給付金を支給した。 受給者数 5,015人</p> <p>(5) 公立高校就学支援金 一定の収入額未満世帯の生徒に対し、授業料に充てるため公立高等学校就学支援金を支給した。 対象者数 31,879人</p>						

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等						
	円	円	府立学校スマートスクール推進事業 (高校教育課)	<p>3 執 行 額 5,107,715,599円 (うち貸付金 948,218,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 新学習指導要領の全面実施や大学入試改革などの教育改革や、AI・ICTの急速な進展に伴い、府立学校における効果的な教育活動を実現する。</p> <p>2 施策の実施状況 電子黒板機能付きプロジェクタ等を普通教室に整備するとともに、プロジェクタと生徒用タブレット端末を活用する授業づくりに向けた実証研究を実施した。 プロジェクタ等整備校 鳥羽高等学校ほか6校</p>						
			夢に応えられる府立高校づくり事業 (高校教育課)	<p>3 執 行 額 85,977,058円</p> <p>1 施策の趣旨等 「府立高校特色化推進プラン」に基づき、生徒一人ひとりに応じた教育と時代の変化に対応した教育を実践し、各高校の特色化を推進する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">目 標</th> <th style="text-align: center;">実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">京都大学との連携による 数学オリンピック等参加者数</td> <td style="text-align: center;">延べ1,000人</td> <td style="text-align: center;">延べ962人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 (1) 数学オリンピック等チャレンジ事業 生徒の数学に対する興味・関心を喚起するとともに、数学的な見方や考え方を養い、数学的資質の向上を図るため、京都数学グランプリを実施した。 ア 京都・大阪数学コンテスト 開催日時 令和元年7月14日 会 場 京都大学ほか4会場 イ 京都数学オリンピック道場 開催日時 令和元年10月20日、12月8日の2日間 会 場 京都大学理学部 (2) グローバルネットワーク京都等 大学教授等による論文作成講座や高校生による論文コンテスト、民間企業と連携した商品開発等の取組を実施した。</p>	指 標	目 標	実 績	京都大学との連携による 数学オリンピック等参加者数	延べ1,000人	延べ962人
指 標	目 標	実 績								
京都大学との連携による 数学オリンピック等参加者数	延べ1,000人	延べ962人								

			<p>(3) 京都フロンティア校支援事業 各高等学校の特色に応じて自ら設定したテーマに基づく先進的な取組を支援した。 実 施 校 清明高等学校ほか23校</p> <p>(4) スーパーグローバルハイスクール設置事業 大学等と連携して、国際的に活躍できる人材の育成や教育課程を開発した。 実 施 校 鳥羽高等学校</p> <p>(5) 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 地域課題の解決等の探究的な学びの実現に向けて、先進的なカリキュラムの開発・実践を実施した。 実 施 校 京都すばる高等学校</p> <p>(6) 高校生学習チャレンジサポート事業 進学予備校等の動画コンテンツを活用した学習指導を実施した。 実 施 校 綾部高等学校ほか11校</p> <p>(7) 京都フレックス学園構想推進事業 清明高等学校における教育環境の充実に関する取組を支援した。</p> <p>3 執 行 額 67,071,877円</p>
		<p>北部ものづくり人材連携育成事業 (高校教育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 時代の変化や産業構造の変化に対応できる地域のものづくり産業の担い手を育成する。</p> <p>2 施策の実施状況 基礎的・汎用的な実習設備を整備するとともに、地元企業や公設の試験研究施設等と連携した教育の充実を図った。 実 施 校 工業高等学校ほか1校</p> <p>3 執 行 額 48,000,000円</p>
		<p>確かな学力を身につけるための支援事業 (高校教育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 生徒一人ひとりの能力・個性を伸ばすため、生徒の学力・学習状況をきめ細かに把握・分析し、状況に応じた取組を推進することで、学力や学校生活の基礎・基本の向上と定着を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 府立高校実力テスト 生徒の学力状況を把握し教科指導の充実に努めるとともに、進路指導をより効果的に進め進路希望の実現を図るため、全ての府立高等学校で実力テストを実施した。</p> <p>(2) 府立高校「セカンドラーニング教室」設置事業 義務教育段階の学び直しが必要な生徒の学習不安を解消し、学力不足による中退等</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等						
	円	円		<p>の防止や学習意欲の向上による希望進路実現を図るため、学習内容の定着が十分でない生徒を対象に個別指導を実施した。</p> <p>(3) 基礎学力補習 学習習慣の確立、基礎基本の徹底により、生徒の基礎学力の充実を図るため、補習の実施や独自教材の作成を行った。</p> <p>(4) 進路補習 生徒の希望進路を実現するため、進学・就職等希望進路に対応したコース別補習の実施や、資格取得のための就職補習を実施した。</p> <p>(5) 学習合宿 夏季・冬季休業期間中等に学習合宿を実施し、学習習慣の確立や学習意欲の向上を図り、希望進路の実現に必要な学力を育成した。</p> <p>(6) 大学生教育ボランティア活用事業 教職を目指す大学生等をボランティアとして受け入れ、授業補助や個別指導補助に活用し、きめ細かな指導体制の充実を図った。</p> <p>3 執 行 額 36,814,694円</p>						
			高校生伝統文化事業 (高校教育課)	<p>1 施策の趣旨等 日本・郷土の伝統文化を尊重する態度の育成に当たり、京都府にゆかりの深い茶道及び華道を取り上げ、伝統文化への関心を高めるとともに、豊かに生きる力を育む。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">指 標</th> <th style="text-align: center;">目 標</th> <th style="text-align: center;">実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">参加生徒数 (延べ)</td> <td style="text-align: center;">7,800人</td> <td style="text-align: center;">10,694人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 府立高等学校において、総合的な学習の時間等を活用し、茶道や華道に関する講義や作法を通して、規範意識や思いやりの心を学ぶ授業を実施した。</p> <p>実 施 校 茶道 全府立高校 華道 清明高等学校ほか24校 和歌などの伝統文化 山城高等学校ほか28校 伝統文化推進校 鴨沂高等学校ほか5校</p> <p>3 執 行 額 18,834,728円</p>	指 標	目 標	実 績	参加生徒数 (延べ)	7,800人	10,694人
指 標	目 標	実 績								
参加生徒数 (延べ)	7,800人	10,694人								

5 学校建設費 (P204)	2,936,896,000 (2,936,896,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 938,855,000 (府立高校トイレ 洋式化推進事業 費 13,277,000 老朽校舎等改修 費 321,902,000 学校施設長寿命 化推進費 313,794,000 新設高等学校整 備費 247,882,000)	1,990,339,720 (1,990,339,720) 決算額の財源 内訳 繰越金 7,791,451 府債 1,963,000,000 一般財源 19,548,269	府立高校生夢チャレン ジ留学支援事業 (高校教育課)	<p>1 施策の趣旨等 夢や希望を抱きながらも経済的に困難な状況にある高校生を支援したいという意向で受け入れた寄附金を活用し、経済的に困難な状況にありながらも、将来の夢の実現にチャレンジする府立高校生を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 低所得世帯の府立高校生を対象とした留学支援を実施した。 対象者数 10人</p> <p>3 執行額 3,776,000円</p>
			特別支援教育総合推進 事業 (高校教育課)	<p>1 施策の趣旨等 府立高等学校における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 府立高等学校において、聴覚障害生徒に対する学習補助システムによる支援を実施した。 実施校 2校</p> <p>3 執行額 3,000,000円</p>
			府立高校トイレ洋式化 推進事業 (管理課)	<p>1 施策の趣旨等 府立高等学校のトイレ洋式化を推進し、学習環境及び衛生環境の向上を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 トイレ洋式化のため改修工事及び改修設計を実施した。 実施校 トイレ改修 山城高等学校ほか13校 改修設計 鳥羽高等学校ほか4校</p> <p>3 執行額 644,138,644円</p>
			老朽校舎等改修事業 (管理課)	<p>1 施策の趣旨等 老朽化した校舎等の維持補修を計画的に実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 老朽校舎改修及び設備改修等を実施した。 老朽校舎・設備改修等 522,730,405円 建築物定期点検 45,405,195</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円 府有施設ブロック塀等緊急安全 対策事業費 4,000,000 府立学校緊急猛 暑対策事業費 (38,000,000)	円	学校施設長寿命化推進 事業 (管 理 課)	3 執 行 額 568,135,600円 1 施策の趣旨等 学校施設の計画的な改修により長寿命化を推進する。 2 施策の実施状況 大規模改修、空調改修及びグラウンド改修工事を整備した。 実 施 校 大規模改修 木津高等学校 空 調 改 修 洛西高等学校、亀岡高等学校 グラウンド改修 朱雀高等学校 3 執 行 額 281,521,776円 1 施策の趣旨等 自分のペースで「自立心・主体性」を身につけることができる、生徒一人ひとりのチャレ ンジをサポートする清新高等学校を峰山高等学校弥栄分校校地に新設する。 2 施策の実施状況 校舎の新設及び既存棟の改修工事を実施した。 3 執 行 額 272,118,000円 1 施策の趣旨等 府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、 道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施 設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。 2 施策の実施状況 施設数 18施設 3 執 行 額 169,425,700円

			府立学校緊急猛暑対策事業 (管理課)	<p>1 施策の趣旨等 近年、夏に猛暑が続く中、生徒の安心・安全を確保するため、空調設備が設置されていない府立高等学校の寮の舎室に、空調設備を整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 実施校 北桑田高等学校 海洋高等学校</p> <p>3 執行額 55,000,000円</p>
5 特別支援学校費				
1 特別支援学校費 (P206)	2,595,225,000 (15,576,565,012) 翌年度への繰越 事業費繰越額 1,514,430,000 (新設特別支援学校建設費(井手地区))	1,048,476,361 (13,842,879,732) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 249,726,680 繰越金 6,191,771 府債 759,000,000 一般財源 33,557,910	新設特別支援学校建設事業 (管理課)	<p>1 施策の趣旨等 山城地域の特別支援学校における児童生徒の急増に対応するため、井手町との連携協力のもと、新設特別支援学校を整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 校舎の新築工事に着手した。</p> <p>3 執行額 763,614,031円</p>
			府立特別支援学校緊急猛暑対策事業 (管理課)	<p>1 施策の趣旨等 平成30年における記録的猛暑を踏まえ特別支援学校の空調設備を整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 盲学校及び舞鶴支援学校行永分校の特別教室等に空調設備の整備を実施した。</p> <p>3 執行額 99,356,951円</p>
			老朽校舎等改修事業 (管理課)	<p>1 施策の趣旨等 老朽化した校舎等の維持補修を計画的に実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 老朽校舎改修及び設備改修等を実施した。 老朽校舎・設備改修 建築物定期点検 74,678,502円 9,021,042</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		
			府有施設ブロック塀等 緊急安全対策事業 (管 理 課)	<p>3 執 行 額 83,699,544円</p> <p>1 施策の趣旨等 府有施設に設置されたブロック塀等で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 施設数 4 施設</p> <p>3 執 行 額 43,877,408円</p>
			府立学校ブロック塀緊急 安全対策事業 (管 理 課)	<p>1 施策の趣旨等 府立学校に設置されたブロック塀で、現行の建築基準法に適合していない施設のうち、道路、保育園等に面するなど倒壊した場合に不特定多数への人的被害が生じる恐れが高い施設について、大阪府北部地震の教訓を踏まえ、緊急的な安全対策を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 施設数 2 施設</p> <p>3 執 行 額 10,538,762円</p>
			向日が丘支援学校基本 構想策定事業 (管 理 課)	<p>1 施策の趣旨等 向日が丘支援学校の敷地測量を行い、境界確定作業等を実施することで、長岡京市共生型福祉施設への譲渡範囲の決定及び改築工事計画の検討に活用する。</p> <p>2 施策の実施状況 向日が丘支援学校の改築工事に向けて、学校敷地の面積及び敷地境界を、確定させるため、測量等業務を実施した。</p> <p>3 執 行 額 10,000,000円</p>

		<p>特別支援教育総合推進事業 (特別支援教育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 発達障害を含む障害のある幼児児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じて、一貫した支援を総合的に行う。</p> <table border="1" data-bbox="1075 303 2016 494"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都府スーパーサポートセンターにおける教員への体験型専門研修受講者数</td> <td>1,000人</td> <td>581人</td> </tr> <tr> <td>京都府スーパーサポートセンター及び各地域支援センターにおける小中学校等に対する相談支援件数</td> <td>6,800件</td> <td>5,119件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 特別支援教育サポート拠点事業 特別支援教育の拠点校である宇治支援学校内に「京都府スーパーサポートセンター」を設置し、総合教育センター、各地域支援センター、盲学校及び聾学校と連携、子ども・保護者・教員・地域を支援した。</p> <p>ア 宇治支援学校の授業等を活用した教員への体験型専門研修 4 講座開催 受講者 581人</p> <p>イ 医師や作業療法士等からなる専門家チーム等を活用した相談支援 相談件数 51件</p> <p>ウ 府南部地域における就学前からの視覚・聴覚障害のある子どもへの相談支援 相談件数 654件</p> <p>(2) 地域等連携推進事業</p> <p>ア 各地域支援センターにおける教育相談、医師、臨床心理士、福祉関係者及び教員等による教育相談 相談件数 4,465件</p> <p>イ 小中学校等での研修会への講師派遣 支援件数 216件</p> <p>3 執 行 額 20,417,682円</p> <p>特別支援学校職業教育等充実事業 (特別支援教育課)</p> <p>1 施策の趣旨等 特別支援学校高等部生徒の職業的自立を促進するため、就労支援及び職業教育内容の充実を行う。</p> <table border="1" data-bbox="1075 1324 2016 1452"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援学校生徒の就職率（特別支援学校高等部卒業者に占める就職者の割合（福祉就労を除く。））</td> <td>30%</td> <td>令和元年度末卒業生29.1%</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	目 標	実 績	京都府スーパーサポートセンターにおける教員への体験型専門研修受講者数	1,000人	581人	京都府スーパーサポートセンター及び各地域支援センターにおける小中学校等に対する相談支援件数	6,800件	5,119件	指 標	目 標	実 績	特別支援学校生徒の就職率（特別支援学校高等部卒業者に占める就職者の割合（福祉就労を除く。））	30%	令和元年度末卒業生29.1%
指 標	目 標	実 績																
京都府スーパーサポートセンターにおける教員への体験型専門研修受講者数	1,000人	581人																
京都府スーパーサポートセンター及び各地域支援センターにおける小中学校等に対する相談支援件数	6,800件	5,119件																
指 標	目 標	実 績																
特別支援学校生徒の就職率（特別支援学校高等部卒業者に占める就職者の割合（福祉就労を除く。））	30%	令和元年度末卒業生29.1%																

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) ふれあい・心のステーション 府立特別支援学校全11校が参加し、生徒が自ら製作品の販売実習・実演を行い、府民との交流や企業の理解啓発を図った。 日 程 令和元年9月4日～5日 会 場 大丸京都店 入場者数 約7,000人</p> <p>(2) 生徒の進路支援 進路指導担当教員がハローワーク等と連携し、新しい職場の開拓や現場実習の受入先の確保に一層取り組めるよう非常勤講師を10校に配置した。</p> <p>3 執 行 額 8,460,000円</p>
			府立学校スマートスクール推進事業 (特別支援教育課)	<p>1 施策の趣旨等 新学習指導要領の全面実施や大学入試改革などの教育改革や、AI・ICTの急速な進展に伴い、府立学校における効果的な教育活動を実現する。</p> <p>2 施策の実施状況 府立特別支援学校の校内ネットワーク機器設置整備を行った。 実 施 校 宇治支援学校</p> <p>3 執 行 額 6,043,000円</p>
			羽ばたけ就労支援事業 (特別支援教育課)	<p>1 施策の趣旨等 外部機関等と連携し、生徒の清掃や接客などの職種別専門的スキルを客観的に評価するシステム(京しごと技能検定)を構築する。</p> <p>2 施策の実施状況 教職員向け指導者講習会の実施や介護分野の指導マニュアル及び評価基準を策定するとともに、各種目で京しごと技能検定を実施した。 実施種目 清掃、接客、介護、パソコン実務</p> <p>3 執 行 額 2,468,983円</p>

6 大 学 費 1 大 学 費 (P208)	13,094,132,000 (13,266,829,000)	12,280,963,867 (12,452,085,106)	京都府公立大学法人運 営費交付金 (大学政策課)	1 施策の趣旨等 府立医科大学及び府立大学が法人化により、質の高い教育研究等を実施することを通じて、府民の健康増進及び福祉の向上等に貢献するとともに、中期計画期間に合わせた収支見通しを立て、弾力的・効率的で透明性の高い運営の実現が行えるよう支援を行う。
	翌年度への繰越 事業費繰越額 799,344,000 (北部医療センター がん診療棟整 備費)	決算額の財源 内訳 国庫支出金 15,850,000 府 債 3,649,000,000 一 般 財 源 8,616,113,867		2 施策の実施状況 京都府公立大学法人によって行われた、幅広い教養、高度の専門的知識及び高い倫理観を備えるための人材育成、他大学や地域の多様な主体と協力・連携した研究成果等の活用、附属病院における医療の提供等を通じた社会への貢献等の事業を支援した。
			府立医科大学 { 学 部 医学科662人、看護学科340人 大 学 院 医学研究科344人、保健看護学研究科25人 年間延べ人数 1日平均	
			府立医科大学附属 { 入院患者数 217,403人 594人 病院 { 外来患者数 508,282 2,118	
			府立医科大学附属 { 入院患者数 75,400 206 北部医療センター { 外来患者数 144,839 603	
			府立大学 { 学 部 文学部518人、公共政策学部454人 大 学 院 生命環境学部903人 文学研究科56人、公共政策学研究科24人 生命環境科学研究科162人	
			3 執 行 額	8,598,270,000円 (交付金)
			京都府公立大学法人施 設設備整備資金貸付金 (大学政策課)	1 施策の趣旨等 京都府公立大学法人が行う施設設備整備事業に対して貸付を行い、法人の施設設備整備事業の円滑な実施を図る。
			2 施策の実施状況 (1) 医療機器等整備事業 電子カルテシステム等を整備した。	2,032,000,000円
			(2) 施設整備事業 看護学学舎外壁改修等を行った。	289,000,000円
			3 執 行 額	2,321,000,000円 (貸付金)

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																					
	円	円	<p>医科大学附属病院手術室機能強化事業 (大学政策課)</p> <p>府立大学地域貢献活動強化事業 (大学政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府立医科大学附属病院の手術室を増室し、手術待ち状態の改善を図り、府民に高度医療を提供するため、京都府公立大学法人に対して貸付を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 中央診療棟5階に手術室を増室(12室→14室)するための改修工事等を実施した。</p> <p>3 執 行 額 357,000,000円 (貸付金)</p> <p>1 施策の趣旨等 府政の推進及び府域の発展に寄与し社会的貢献を果たすため、府立大学が市町村、NPO等と共同して地域の課題解決に向けた調査・研究を行う「地域貢献型特別研究(ACTR)」の取組及び研究成果の発信に対して支援を行う。</p> <p>指標：調査研究活動件数 目標：20件 実績：24件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 調査研究活動</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">研究分野</td> <td style="text-align: center;">件数</td> <td style="text-align: center;">内 容</td> </tr> <tr> <td>文学・歴史</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td>夜久野末窯跡群を中心とした地域の文化遺産の調査と活用他</td> </tr> <tr> <td>公 共 政 策</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td>関西文化学術研究都市建設が精華町に与えた効果・影響に関する研究他</td> </tr> <tr> <td>生 命 環 境</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td>絶滅したと考えられた京都固有在来ブドウ品種「聚楽」の復活と新たな利用方法の確立他</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 研究成果報告会の開催</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">開 催 日</td> <td style="text-align: center;">会 場</td> <td style="text-align: center;">来場者数</td> </tr> <tr> <td>令和元年10月1日</td> <td>府立京都学・歴彩館</td> <td style="text-align: center;">55人</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額 30,000,000円 (交付金)</p>	研究分野	件数	内 容	文学・歴史	4件	夜久野末窯跡群を中心とした地域の文化遺産の調査と活用他	公 共 政 策	4	関西文化学術研究都市建設が精華町に与えた効果・影響に関する研究他	生 命 環 境	16	絶滅したと考えられた京都固有在来ブドウ品種「聚楽」の復活と新たな利用方法の確立他	計	24		開 催 日	会 場	来場者数	令和元年10月1日	府立京都学・歴彩館	55人
研究分野	件数	内 容																							
文学・歴史	4件	夜久野末窯跡群を中心とした地域の文化遺産の調査と活用他																							
公 共 政 策	4	関西文化学術研究都市建設が精華町に与えた効果・影響に関する研究他																							
生 命 環 境	16	絶滅したと考えられた京都固有在来ブドウ品種「聚楽」の復活と新たな利用方法の確立他																							
計	24																								
開 催 日	会 場	来場者数																							
令和元年10月1日	府立京都学・歴彩館	55人																							

		<p>北部医療センターがん診療棟整備事業 (大学政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府立医科大学附属北部医療センターにがん診断から治療までを一体的に実施するがん診療棟を整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 がん診療棟の新築工事を実施した。 構造・規模 鉄筋コンクリート造 1階建 延べ床面積 982㎡ 施設の内容 放射線治療室、PET-CT室、化学療法室等</p> <p>3 執行額 639,267,862円 (委託料)</p>
		<p>周産期等子育て医療体制強化事業 (大学政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 府内の周産期医療体制を強化するため、府立医科大学附属病院のNICU（新生児集中治療室）増床に対する支援を行う。</p> <p>2 施策の実施状況 NICUを増床（6床→9床）するための改修工事等を実施した。</p> <p>3 執行額 332,000,000円 (貸付金)</p>
		<p>陽子線治療府民助成事業 (大学政策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 治療費が高額な陽子線治療を受ける患者の負担を軽減するため、府民を対象に、府立医科大学附属病院「最先端がん治療研究施設」における陽子線治療費の一部を助成する。</p> <p>2 施策の実施状況 陽子線治療に要する費用の一部を助成した。 助成人数 13人</p> <p>3 執行額 3,426,005円 (うち補助金 3,250,000円)</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等															
7 社会教育費 1 社会教育総務費 (P208)	円 66,398,000 (215,573,000)	円 62,536,180 (209,522,353) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 27,763,000 一般財源 34,773,180	子どものための地域連携事業 (社会教育課)	1 施策の趣旨等 「学校・家庭・地域」が連携・協働し、地域社会全体で教育に取り組む体制づくりや子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進し、社会全体の教育力の向上や地域の活性化を図る。 <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">指 標</th> <th style="width: 15%;">目 標</th> <th style="width: 25%;">実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「京のまなび教室」の開設数</td> <td>89教室</td> <td>84教室</td> </tr> <tr> <td>「地域学校協働本部」の本部数</td> <td>46本部</td> <td>76本部</td> </tr> <tr> <td>「地域未来塾」の開設数</td> <td>48箇所</td> <td>48箇所</td> </tr> <tr> <td>土曜日の教育支援体制等構築事業 実施箇所数</td> <td>40校</td> <td>38校</td> </tr> </tbody> </table> 2 施策の実施状況 (1) 「京のまなび教室」の開設等 放課後の体験活動・学習活動等の充実を図るため、「京のまなび教室」を開設する市町(組合)に対し、助成を行った。 開 設 数 17市町(組合) 84教室 (2) 地域学校協働活動の推進 地域の住民・団体等の協力を得て、子どもたちの学びや成長を支えるとともに、郷土学習や登下校安全指導などの地域と学校が連携・協働して行う活動を推進し、新たな取組校が増えるよう市町(組合)に助成を行った。 実施本部数 16市町(組合) 76本部 167校 (3) 「地域未来塾」の開設 学習が遅れがちな中学生等を対象とした地域住民の協力による学習支援を行う「地域未来塾」の開設を行う市町(組合)に助成を行った。 実施箇所数 12市町(組合) 48箇所 51校 (4) 土曜日の教育支援体制等構築 地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力による体系的・継続的な土曜日の教育活動を支援する体制の構築に取り組む市町(組合)に助成を行った。 実施箇所数 5市町(組合) 7箇所 38校 3 執 行 額 <div style="text-align: right;">52,043,682円 (うち補助金 50,530,000円)</div>	指 標	目 標	実 績	「京のまなび教室」の開設数	89教室	84教室	「地域学校協働本部」の本部数	46本部	76本部	「地域未来塾」の開設数	48箇所	48箇所	土曜日の教育支援体制等構築事業 実施箇所数	40校	38校
指 標	目 標	実 績																	
「京のまなび教室」の開設数	89教室	84教室																	
「地域学校協働本部」の本部数	46本部	76本部																	
「地域未来塾」の開設数	48箇所	48箇所																	
土曜日の教育支援体制等構築事業 実施箇所数	40校	38校																	

		<p>家庭教育支援事業 (社会教育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 家庭での学習や生活習慣がしっかり身に付くよう、就学前の子どもを持つ保護者を対象に学習機会や情報の提供を行うとともに、相談体制の充実を図ることにより、家庭教育力の一層の向上を目指す。</p> <table border="1" data-bbox="1077 341 1928 437"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育に関する学習機会提供数</td> <td>70回</td> <td>43回</td> </tr> <tr> <td>家庭教育支援活動チーム数</td> <td>7チーム</td> <td>7チーム</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 施策の実施状況 (1) 家庭の教育力の向上のため、保護者への学習機会の提供や家庭教育支援チーム活動を行う市町（組合）に対し、助成を行った。 実施箇所数 4市町（組合） (2) ネットトラブルから子どもを守るため、PTAと連携して保護者を対象とした研修会を実施した。 (3) 家庭教育アドバイザーが中心となり家庭教育に悩みや不安を抱える家庭を対象に訪問することや地域人材や関係機関により構成するネットワーク会議を行う市町（組合）に対し、助成を行った。 実施箇所数 3市町</p> <p>3 執 行 額 5,492,498円 (うち補助金 3,534,000円)</p>	指 標	目 標	実 績	家庭教育に関する学習機会提供数	70回	43回	家庭教育支援活動チーム数	7チーム	7チーム
指 標	目 標	実 績										
家庭教育に関する学習機会提供数	70回	43回										
家庭教育支援活動チーム数	7チーム	7チーム										
		<p>全国高等学校PTA連 合会大会開催事業 (社会教育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 学校教育・家庭教育の振興、青少年の健全育成、高等学校PTA活動の質的向上及び情報の共有化を図り、今日的課題について研究を深め、参加者相互の研修の場とする。</p> <p>2 施策の実施状況 全国からPTA会員などが参加し、記念講演や分科会などを通して、子どもたちの将来を見据えたPTA活動の在り方などについて議論を深める大会に対し、助成を行った。 日 程 令和元年8月22日～23日 会 場 「京都市勧業館みやこめッセ」及び「ロームシアター京都」 参加者数 約10,000人</p> <p>3 執 行 額 5,000,000円 (補助金)</p>									

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																																																										
8 文化財保護費	円	円																																																												
1 文化財保護費 (P210)	2,703,070,000 (3,069,486,502) 翌年度への繰越 事業費繰越額 108,842,000 (歴史的建造物保 存伝承事業費 83,774,000 文化財緊急防火 ・防災対策事業 費 25,068,000)	2,590,089,127 (2,956,152,483) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 34,898,000 繰 越 金 62,880,000 諸 収 入 2,269,452,000 府 債 115,000,000 一 般 財 源 107,859,127	歴史的建造物等保存伝 承事業 (文化財保護課)	<p>1 施策の趣旨等 府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 建造物保存修理受託 国宝・重要文化財建造物のうち、破損の甚だしいものについて、それぞれの所有者から委託を受けて、保存修理を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>知恩院本堂・集會堂ほか</td> <td>32,259,000円</td> </tr> <tr> <td>清水寺本堂ほか</td> <td>225,381,000</td> </tr> <tr> <td>裏千家住宅</td> <td>88,077,000</td> </tr> <tr> <td>本隆寺本堂ほか</td> <td>98,096,000</td> </tr> <tr> <td>萬福寺法堂ほか</td> <td>216,532,000</td> </tr> <tr> <td>東福寺常楽庵客殿(普門院)ほか</td> <td>142,875,000</td> </tr> <tr> <td>平等院鳳凰堂中堂</td> <td>38,711,000</td> </tr> <tr> <td>教王護国寺大師堂(西院御影堂)</td> <td>107,277,000</td> </tr> <tr> <td>賀茂別雷神社楼門ほか</td> <td>122,436,000</td> </tr> <tr> <td>本願寺阿弥陀堂ほか</td> <td>363,065,000</td> </tr> <tr> <td>北野天満宮廻廊ほか</td> <td>132,479,000</td> </tr> <tr> <td>知恩寺御影堂及び総門</td> <td>71,429,000</td> </tr> <tr> <td>養源院中門ほか</td> <td>100,436,000</td> </tr> <tr> <td>水度神社本殿</td> <td>30,300,000</td> </tr> <tr> <td>酬恩庵鐘楼</td> <td>18,008,000</td> </tr> <tr> <td>良正院本堂及び表門</td> <td>60,408,000</td> </tr> <tr> <td>聴竹居茶室ほか</td> <td>21,070,000</td> </tr> <tr> <td>妙心寺小方丈ほか</td> <td>94,506,000</td> </tr> <tr> <td>大仙院書院</td> <td>34,436,000</td> </tr> <tr> <td>白山神社拜殿</td> <td>8,612,000</td> </tr> <tr> <td>石清水八幡宮撰社若宮社本殿及び撰社若宮殿社本殿</td> <td>111,739,000</td> </tr> <tr> <td>教王護国寺五重塔</td> <td>15,050,000</td> </tr> <tr> <td>報土寺本堂</td> <td>4,200,000</td> </tr> <tr> <td>知恩寺御影堂ほか</td> <td>48,970,000</td> </tr> <tr> <td>金戒光明寺三重塔</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>知恩院三門ほか</td> <td>25,720,000</td> </tr> <tr> <td>教王護国寺蓮花門ほか</td> <td>19,610,000</td> </tr> <tr> <td>仁和寺二王門ほか</td> <td>18,000,000</td> </tr> <tr> <td>醍醐寺五重塔ほか</td> <td>9,970,000</td> </tr> </table>	知恩院本堂・集會堂ほか	32,259,000円	清水寺本堂ほか	225,381,000	裏千家住宅	88,077,000	本隆寺本堂ほか	98,096,000	萬福寺法堂ほか	216,532,000	東福寺常楽庵客殿(普門院)ほか	142,875,000	平等院鳳凰堂中堂	38,711,000	教王護国寺大師堂(西院御影堂)	107,277,000	賀茂別雷神社楼門ほか	122,436,000	本願寺阿弥陀堂ほか	363,065,000	北野天満宮廻廊ほか	132,479,000	知恩寺御影堂及び総門	71,429,000	養源院中門ほか	100,436,000	水度神社本殿	30,300,000	酬恩庵鐘楼	18,008,000	良正院本堂及び表門	60,408,000	聴竹居茶室ほか	21,070,000	妙心寺小方丈ほか	94,506,000	大仙院書院	34,436,000	白山神社拜殿	8,612,000	石清水八幡宮撰社若宮社本殿及び撰社若宮殿社本殿	111,739,000	教王護国寺五重塔	15,050,000	報土寺本堂	4,200,000	知恩寺御影堂ほか	48,970,000	金戒光明寺三重塔	3,000,000	知恩院三門ほか	25,720,000	教王護国寺蓮花門ほか	19,610,000	仁和寺二王門ほか	18,000,000	醍醐寺五重塔ほか	9,970,000
知恩院本堂・集會堂ほか	32,259,000円																																																													
清水寺本堂ほか	225,381,000																																																													
裏千家住宅	88,077,000																																																													
本隆寺本堂ほか	98,096,000																																																													
萬福寺法堂ほか	216,532,000																																																													
東福寺常楽庵客殿(普門院)ほか	142,875,000																																																													
平等院鳳凰堂中堂	38,711,000																																																													
教王護国寺大師堂(西院御影堂)	107,277,000																																																													
賀茂別雷神社楼門ほか	122,436,000																																																													
本願寺阿弥陀堂ほか	363,065,000																																																													
北野天満宮廻廊ほか	132,479,000																																																													
知恩寺御影堂及び総門	71,429,000																																																													
養源院中門ほか	100,436,000																																																													
水度神社本殿	30,300,000																																																													
酬恩庵鐘楼	18,008,000																																																													
良正院本堂及び表門	60,408,000																																																													
聴竹居茶室ほか	21,070,000																																																													
妙心寺小方丈ほか	94,506,000																																																													
大仙院書院	34,436,000																																																													
白山神社拜殿	8,612,000																																																													
石清水八幡宮撰社若宮社本殿及び撰社若宮殿社本殿	111,739,000																																																													
教王護国寺五重塔	15,050,000																																																													
報土寺本堂	4,200,000																																																													
知恩寺御影堂ほか	48,970,000																																																													
金戒光明寺三重塔	3,000,000																																																													
知恩院三門ほか	25,720,000																																																													
教王護国寺蓮花門ほか	19,610,000																																																													
仁和寺二王門ほか	18,000,000																																																													
醍醐寺五重塔ほか	9,970,000																																																													

				<p>萬福寺大雄宝殿ほか 計 30件 6,800,000 2,269,452,000</p> <p>(2) 国指定文化財等補助 国指定文化財の保存修理等に対して補助した。 大徳寺ほか273件</p> <p>(3) 文化財巡視 文化財保護指導委員を委嘱し、文化財の巡視や文化財保護に関する指導・助言を行うとともに、地域住民の文化財保護意識の高揚を図るための普及活動を行った。 委嘱人数 69人 巡視状況 延べ1,111日 2,933箇所</p> <p>(4) 重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助 重要伝統的建造物群保存地区の保存事業に対して補助した。 南丹市美山町北重要伝統的建造物群保存地区ほか2保存地区</p> <p>(5) 祇園祭山鉾保存費補助 重要有形民俗文化財である祇園祭山鉾のうち、緊急に修理を要するものに対して、補助した。 山伏山ほか2件</p> <p>(6) 京都の史跡・埋蔵文化財活用事業 府内の史跡・埋蔵文化財に対する理解や関心を深めるため、出土品の展示や現地見学会等を実施した。 参加者数 4,153人</p>
				<p>3 執行額 2,349,317,666円 (うち補助金 71,079,000円)</p>
			府指定・登録文化財保存修理事業 (文化財保護課)	<p>1 施策の趣旨等 府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 府指定・登録・暫定登録文化財の保存修理等に対して助成を行った。 養徳院ほか102件</p>
				<p>3 執行額 132,844,000円 (補助金)</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	文化財災害復旧事業 (文化財保護課)	<p>1 施策の趣旨等 平成30年7月豪雨、台風20号及び21号等により被害を受けた文化財の災害復旧を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 平成30年7月豪雨、台風20号及び21号等で被災した文化財の保存修理等に対して助成を行った。 正林寺ほか26件</p> <p>3 執 行 額 62,880,000円 (補助金)</p>
			文化財緊急防火・防災 対策事業 (文化財保護課)	<p>1 施策の趣旨等 世界的な文化財の火災が相次いだことを受け、緊急的に文化財の防火・防災対策を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 文化財の緊急的な防火・防災対策に対し、助成を行った。 大徳寺ほか176件</p> <p>3 執 行 額 34,931,000円 (補助金)</p>
			文化財活用支援事業 (文化財保護課)	<p>1 施策の趣旨等 社寺等を活用し、人が集まり、文化を体験できる拠点をつくることにより、文化財活用の好循環を生み出す。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 文化財修理現場特別公開 国宝等建造物保存修理事業の最終段階を特別公開するツアーを清水寺ほか2箇所で開催した。</p> <p>(2) 文化財美装化・環境整備補助 文化財を活用する所有者に対し、美装化・環境整備のための助成を行った。 萬福寺 1件</p> <p>(3) 文化財保存活用大綱策定 京都府における文化財の保存・活用の基本的な方向性を示す大綱を策定した。</p> <p>(4) 建造物保存修理現場公開</p>

				<p>建造物の歴史・修理の仕方等について学ぶ機会を提供し、文化財保護の普及啓発に役立てるため、本隆寺本堂ほか4箇所の修理現場を公開した。</p> <p>3 執行額 10,116,461円</p>																																										
<p>9 保健体育費</p> <p>2 体育振興費 (P214)</p>	<p>335,966,000 (498,987,000)</p>	<p>331,339,343 (490,510,879)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 52,812,834 諸収入 589,000 一般財源 277,937,509</p>	<p>ジュニアアスリート強化拠点施設運営事業 (スポーツ振興課)</p> <p>京のアスリート育成・強化総合推進事業 (保健体育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 京都トレーニングセンターを拠点とした医科学的トレーニングを実施し、ジュニアアスリートのサポート体制を構築する。</p> <p>2 施策の実施状況 京都トレーニングセンターを拠点として、ジュニアアスリートの競技力向上と健康体力維持増進のため、京都府スポーツセンターと連携した運営を行い、科学的測定に基づいたトレーニング指導や動作分析、メンタルサポート等の複合的な医科学トレーニングプログラムを提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プログラム</th> <th>京都トレーニングセンター 利用者数</th> <th>京都府スポーツセンター 利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定</td> <td>2,510人</td> <td>432人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング指導</td> <td>5,317</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>栄養指導</td> <td>1,037</td> <td>738</td> </tr> <tr> <td>ボディケア</td> <td>3,549</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>医事相談</td> <td>583</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>メンタルサポート</td> <td>537</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>動作分析</td> <td>1,252</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14,785</td> <td>1,224</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 執行額 44,285,668円 (うち委託料 33,271,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 トップアスリートや国体選手の育成強化を図り、府民スポーツの更なる振興と競技力の向上を目指す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民体育大会男女総合成績</td> <td>第8位以内入賞</td> <td>第8位</td> </tr> <tr> <td>国体選手等派遣事業、もっと元気な</td> <td>25種目25会場</td> <td>13種目14会場</td> </tr> <tr> <td>京都ジュニア夢・発見プロジェクト</td> <td>延べ1,600人</td> <td>延べ1,248人</td> </tr> <tr> <td>体験事業 実施種目数、会場数、参加者数</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	プログラム	京都トレーニングセンター 利用者数	京都府スポーツセンター 利用者数	測定	2,510人	432人	トレーニング指導	5,317	-	栄養指導	1,037	738	ボディケア	3,549	-	医事相談	583	54	メンタルサポート	537	-	動作分析	1,252	-	計	14,785	1,224	指 標	目 標	実 績	国民体育大会男女総合成績	第8位以内入賞	第8位	国体選手等派遣事業、もっと元気な	25種目25会場	13種目14会場	京都ジュニア夢・発見プロジェクト	延べ1,600人	延べ1,248人	体験事業 実施種目数、会場数、参加者数		
プログラム	京都トレーニングセンター 利用者数	京都府スポーツセンター 利用者数																																												
測定	2,510人	432人																																												
トレーニング指導	5,317	-																																												
栄養指導	1,037	738																																												
ボディケア	3,549	-																																												
医事相談	583	54																																												
メンタルサポート	537	-																																												
動作分析	1,252	-																																												
計	14,785	1,224																																												
指 標	目 標	実 績																																												
国民体育大会男女総合成績	第8位以内入賞	第8位																																												
国体選手等派遣事業、もっと元気な	25種目25会場	13種目14会場																																												
京都ジュニア夢・発見プロジェクト	延べ1,600人	延べ1,248人																																												
体験事業 実施種目数、会場数、参加者数																																														

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等																													
	円	円	<p>京都式「部活動サポート」事業 (保健体育課)</p>	<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) パワフル京都推進 競技団体主導による選手強化施策の支援を実施した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">指定強化選手（ジュニア層）の支援</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">18競技</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">36人</td> </tr> <tr> <td>国体京都代表選手（大学生等）の支援</td> <td style="text-align: right;">21</td> <td style="text-align: right;">81</td> </tr> <tr> <td>専門的指導者による多角的な強化支援</td> <td style="text-align: right;">25</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) チーム京都推進 府競技力向上対策本部主導による競技横断的な強化施策の支援を実施した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">社会人選手の雇用主への活動支援</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">9社</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">32人</td> </tr> </table> <p>(3) ジュニア層強化事業 ゴールドンスポーツイヤーズに京都ゆかりのジュニア選手が花開くための速やかな競技力向上に向けた支援を実施した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">ジュニア指導者を対象とした講習会</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">3競技</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">397人</td> </tr> <tr> <td>オリンピック出場選手等による体験教室等</td> <td style="text-align: right;">13</td> <td style="text-align: right;">1185</td> </tr> </table> <p>(4) 指導者育成事業 ゴールドンスポーツイヤーズ以降も高い競技力を持続させるために計画的な指導者育成を実施した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">組織マネジメントやトレーニング理論に関する指導者講習会</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">9競技</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">764人</td> </tr> </table> <p>3 執 行 額</p> <p style="text-align: right;">242,812,025円 (うち補助金 235,449,151円)</p> <p>1 施策の趣旨等 外部人材を配置することにより、運動部顧問教員の負担軽減を図るとともに、運動部活動の活性化及び教員の指導力向上を図る。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-left: 40px;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">指 標</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">目 標</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td>地域のスポーツ指導者による部活動等指導の実施</td> <td>中学校 高等学校</td> <td>180運動部</td> <td>182運動部</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 部活動指導員 学校部活動の校内業務を担う部活動指導員を中学校に45人配置した。</p> <p>(2) 外部指導者 運動部活動指導者セミナーにおいて、指導上の配慮事項等に係る講習を実施すると</p>	指定強化選手（ジュニア層）の支援	18競技	36人	国体京都代表選手（大学生等）の支援	21	81	専門的指導者による多角的な強化支援	25		社会人選手の雇用主への活動支援	9社	32人	ジュニア指導者を対象とした講習会	3競技	397人	オリンピック出場選手等による体験教室等	13	1185	組織マネジメントやトレーニング理論に関する指導者講習会	9競技	764人	指 標		目 標	実 績	地域のスポーツ指導者による部活動等指導の実施	中学校 高等学校	180運動部	182運動部
指定強化選手（ジュニア層）の支援	18競技	36人																															
国体京都代表選手（大学生等）の支援	21	81																															
専門的指導者による多角的な強化支援	25																																
社会人選手の雇用主への活動支援	9社	32人																															
ジュニア指導者を対象とした講習会	3競技	397人																															
オリンピック出場選手等による体験教室等	13	1185																															
組織マネジメントやトレーニング理論に関する指導者講習会	9競技	764人																															
指 標		目 標	実 績																														
地域のスポーツ指導者による部活動等指導の実施	中学校 高等学校	180運動部	182運動部																														

				<p>ともに、地域のスポーツ指導者を中学校51校・府立高等学校38校に派遣した。</p> <p>3 執行額 20,995,650円</p>						
			<p>全国中学校体育大会開催事業 (保健体育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 中学校教育の一環として、中学校生徒に広くスポーツの実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健全な中学校生徒の育成と相互の親睦を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 近畿各府県で「令和元年度 全国中学校体育大会」を開催した。 全16競技のうち、京都府では3競技を開催 (1) ソフトテニス：令和元年8月20日(火)～22日(木) 参加生徒数 591人 (2) 水泳競技：令和元年8月17日(土)～19日(月) 参加生徒数 990 (3) 体操競技：令和元年8月22日(木)～24日(土) 参加生徒数 247</p> <p>3 執行額 15,000,000円</p>						
			<p>京都府版マスターズ大会開催事業 (保健体育課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 より多くの成年・中高年の健康増進や生涯スポーツ推進に寄与するとともに、ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けた機運の醸成を図る。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">指 標</td> <td style="text-align: center;">目 標</td> <td style="text-align: center;">実 績</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">マスターズ部門実施種目数</td> <td style="text-align: center;">23種目</td> <td style="text-align: center;">23種目</td> </tr> </table> <p>2 施策の実施状況 京都府民総合体育大会にマスターズ部門を設置し、京都府版マスターズ大会を開催した。 実施種目数 23種目 参加者数 12,471人</p> <p>3 執行額 8,246,000円 (補助金)</p>	指 標	目 標	実 績	マスターズ部門実施種目数	23種目	23種目
指 標	目 標	実 績								
マスターズ部門実施種目数	23種目	23種目								

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
10 私学振興費 2 私学振興費 (P214)	円 29,384,958,000 (29,448,186,000)	円 29,359,983,100 (29,420,328,063) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 7,713,340,473 繰越金 106,000 府債 77,000,000 一般財源 21,569,536,627	私立学校教育振興補助 事業 (文教課)	1 施策の趣旨等 府内の私立学校（高等学校、中学校、小学校、幼稚園、専修学校、各種学校）教育の振興を図る。 2 施策の実施状況 (1) 私学運営費補助 必要な経費の一部を学校法人に対して補助し、保護者の教育費負担の軽減、教育条件の向上及び経営の健全化を図った。 215校（園） 18,681,524,648円 (2) 北部過疎地域私立高等学校運営費特別補助 北部過疎地域内における私立高等学校の生徒の減少に対応し、学校経営の健全化を図り、併せて保護者の教育費負担の軽減等を支援した。 1校 17,835,000円 (3) 私立高等学校生徒通学費補助 高額の通学費を負担する家庭に対し、通学費の支援を実施した。 109人 2,467,000円 (4) 私立高等学校等授業料減免事業等補助 府内の私立小学校及び私立中学校に在籍する生徒の保護者の教育費負担の軽減を図るため、経済的理由により学校法人が行った授業料減免を支援した。 14校 40,254,081円 (5) 私立高等学校定時制及び通信制課程教科書等給与費補助 高等学校定時制及び通信制の課程に学ぶ勤労青少年の経済的負担を軽減し、学習意欲の向上を図るため、有職者で希望する者に教科書及び学習書を給与することを支援した。 26人 107,000円 (6) 私立幼稚園幼児教育振興補助 宗教法人が設置する私立幼稚園（(1)の対象外）における幼児教育の振興を図るため、体験学習等の教育事業を支援した。 1園 74,000円 (7) 私立幼稚園教材費補助 宗教法人が設置する私立幼稚園（(1)の対象外）の振興と保護者の教育費負担の軽減を支援した。 1園 9,829,000円 (8) 私立幼稚園同時在園保育料減免事業補助 私立幼稚園児の保護者の子育て支援及び幼児教育の振興を図るため、同時在園児に係る保育料減免事業を支援した。 127園 1,381人 17,014,000円

				<p>(9) 私立幼稚園心身障害児教育費補助 幼稚園設置者に対して補助し、心身障害児の就園の促進と幼児教育の振興を図った。 110園 686人 512,631,000円</p> <p>(10) 私立幼稚園預かり保育推進特別補助 私立幼稚園児の保護者の子育て支援及び幼児教育の振興を図るため、預かり保育事業を支援した。 136園 386,906,000円</p> <p>(11) 私立専修学校・各種学校教育振興費補助 必要な経費の一部を学校法人に対して補助し、専修学校教育及び各種学校教育の振興を図った。 35校 65,000,000円</p> <p>(12) 私立高等専修学校生徒奨学補助 私立高等専修学校に在籍する生徒の奨学と保護者の教育費負担の軽減を図るため、一定の所得以下の府民の子弟である生徒を対象に、年額18,000円の授業料軽減措置を行った。 12人 226,000円</p> <p>(13) 私立学校教職員研修費等補助 私立学校の教職員の資質向上を図るための研修等を奨励し、私学教育の振興を図るため、私学団体が行う私立学校教職員等の研修事業等を支援した。 5団体 14,131,000円</p> <p>(14) 私立学校教職員共済事業団補助 私立学校教職員共済事業団加入者及び学校法人等の掛金、負担金の軽減を図るため、日本私立学校振興・共済事業団に対して、厚生年金保険の保険料のうち標準報酬月額1,000分の7.5の1箇年分を補助した。 7,121人 216,082,779円</p> <p>(15) 私立学校教職員退職金補助 私立学校教職員の福祉の増進を図り、もって私学教育の振興を図ることを目的として、公益財団法人京都府私学退職金財団に対して、標準給与月額1,000分の19の1箇年分を補助した。 4,280人 318,370,400円</p> <p>(16) 私立学校施設緊急耐震化事業費補助金 府内私立学校（幼稚園含む）施設の耐震化を促進するため、私立学校の耐震・改築改修事業に要する経費の一部を補助した。 12校（園） 77,334,000円</p> <p>(17) 幼児教育推進支援事業補助金 幼児教育の振興を図るため、公益社団法人京都府私立幼稚園連盟に対して、幼児教育を担う人材確保・資質の向上、読書習慣育成等の子育て支援等に要する経費の一部を補助した。 1団体 5,500,000円</p> <p>(18) 高等学校等就学支援金 私立高等学校等に在籍する生徒の保護者の教育費負担の軽減を図るため、授業料軽減措</p>
--	--	--	--	---

			<p>いじめ防止・不登校支援等総合推進事業 (文教課)</p>	<p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 私立高等学校等授業料減免事業等補助 府内の私立高等学校に在籍する生徒の保護者の教育費負担の軽減を図るため、年収500万円未満程度の世帯における授業料を65万円まで実質無償化するなど、学校法人が行った授業料減免を支援した。 42校 3,383,014,837円</p> <p>(2) 私立高等学校学費軽減補助 府内の私立高等学校に在籍する生徒の奨学と保護者の教育費負担の軽減を図るため、一定の所得以下の府民の子弟である生徒を対象に、年額50,000円の授業料軽減措置を行った。 7,229人 357,885,450円</p> <p>(3) 府外通学生相互支援事業 府外(兵庫県、奈良県)の私立高等学校に在籍する生徒の奨学と保護者の教育費負担の軽減を図るため、一定の所得以下の府民の子弟である生徒を対象に、授業料軽減措置を行った。 160人 4,074,900円</p> <p>3 執行額 3,744,975,187円 (補助金)</p> <p>1 施策の趣旨等 いじめ、体罰、不登校等の課題に対応するため、生徒や保護者の相談に対応する相談機関の運営を支援するとともに、いじめ対応のための附属機関等を設置する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 私学修学支援相談センター事業 いじめ問題等の解決を促進するため、京都府私立中学高等学校連合会が設置する相談機関の運営経費の一部を補助した。</p> <p>(2) いじめ対応のための附属機関等の設置 多くの関係機関が相互に連携を図るために、京都府いじめ問題対策連絡会議を設置するとともに、教育委員会や学校が行った重大事案調査の再調査を行う京都府いじめ調査委員会を設置した。 京都府いじめ問題対策連絡会議の開催 1回 京都府いじめ調査委員会の開催 5</p> <p>3 執行額 7,014,673円 (うち補助金 4,500,000円)</p>
--	--	--	-------------------------------------	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	子育て支援施設利用支援事業 (文 教 課)	<p>1 施策の趣旨等 すべての子どもに質の高い幼児教育を保障するため、私立幼稚園における幼児教育の無償化に必要な経費を負担する。</p> <p>2 施策の実施状況 3歳から5歳全ての子どもの施設利用費を月額上限25,700円まで無償化するとともに、保護者が保育の必要性の認定を受けた場合の、預り保育利用料を月額上限11,300円まで無償化するため、市町村が実施する子育て支援施設利用支援事業に助成した。 実施市町 23市町</p> <p>3 執 行 額 516,417,499円 (補助金)</p>